

令和元年6月28日

保護者様

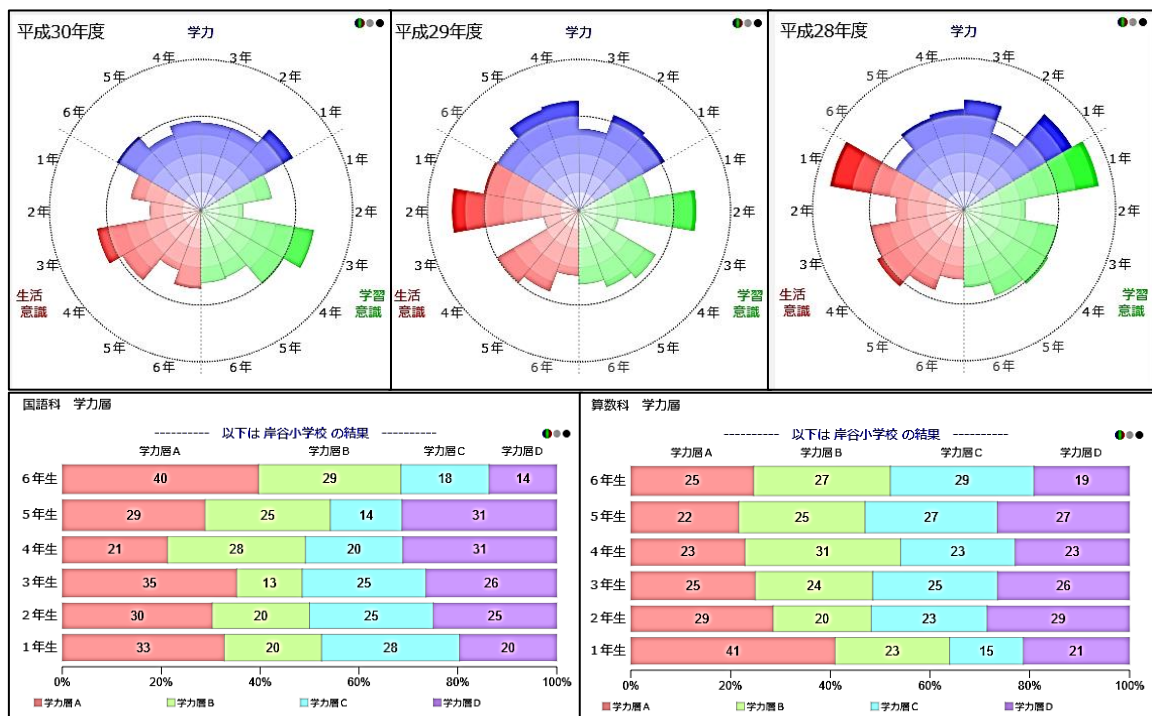
横浜市立岸谷小学校
校長 矢崎 真理

本校における横浜市学力・学習状況調査の結果分析及び課題、改善の手立て
～平成30年度横浜市学力・学習状況調査結果より～

横浜市学力・学習状況調査は児童の学習状況について分析的、統合的に把握することで、教科指導や学習評価の工夫改善、教育活動に生かすとともに、児童の学力向上のための学習改善に生かすことを目的に実施されています。昨年度（平成31年2月実施）の結果から本校の学習状況と今後の取組についてお知らせいたします。

1 調査結果

(1) 学力・学習意識・生活意識分析チャート（※学年表示は旧学年）



(2) 各教科平均正答率

		1年 (現2年)	2年 (現3年)	3年 (現4年)	4年 (現5年)	5年 (現6年)	6年 (現中1)
国語	本校	64.0	68.6	53.9	59.9	60.2	65.3
	市	62.4	70.7	57.4	63.4	62.9	59.9
算数	本校	63.5	59.6	49.9	54.0	48.1	61.0
	市	58.9	61.0	55.7	55.1	52.5	60.2
社会	本校			71.1	68.2	68.4	70.0
	市			73.4	69.9	72.6	70.4
理科	本校			70.3	57.7	56.0	69.2
	市			71.3	56.8	62.5	72.2

(※上段：本校平均正答率 下段：横浜市平均正答率 網掛けは市平均を上回る)

(3)本校の傾向

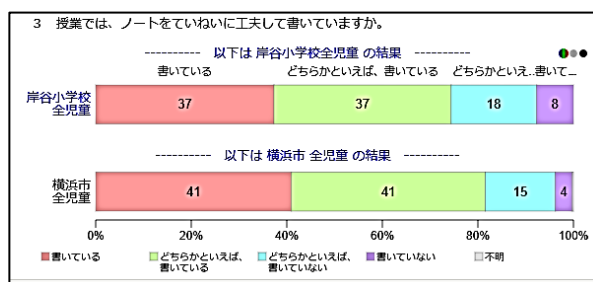
学力・学習意識・生活意識分析チャートから、学力について、市平均との比較で前年度より低下傾向にあります。また学習意識、生活意識も低下傾向にあります。各学年各教科の基礎問題・活用問題の平均正答率についても、市平均正答率より上回る学年、教科が昨年度と比較して減少しています。

3 今後の取組

(1)校内での学力向上の取組

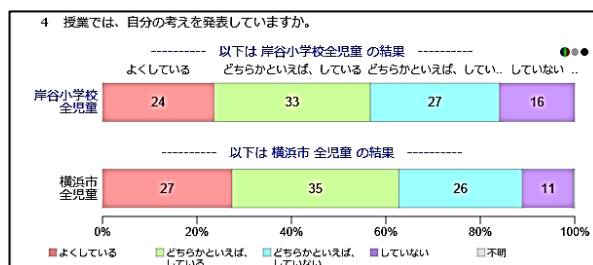
ア 基礎的・基本的な学習事項の定着を図る取組

- 朝のスキル読書タイムの取組を継続して、基礎的・基本的な学習事項の定着を図ります。
- 算数での少人数指導を3学年～6学年までと学年を増やし、岸谷SR（スタディールーム）ではグループ学習を行い、よりきめ細やかに個に応じた指導をしていきます。



イ 資質・能力、見方・考え方を育成する取組

- 日常の場面と関連付けながら、一人ひとりの気付きや疑問から課題を引き出し、主体的に課題解決していく学習活動を通し、教科で大切にしている見方や考え方を育成します。
- 授業の中で、具体的な操作、図や表、式、言葉で自分の考えを表現する、根拠を明確にして説明するなどの活動を位置づけ、思考力、判断力、表現力を育成します。



(2)家庭との連携

ア 家庭学習の習慣化（国語、算数を基本とした家庭学習）

学年に応じて宿題の量は異なりますが、短時間でも机に向かう習慣や、学年相応の学習の習慣が身に付けられるよう支援を行います。

イ 学習への取組についての共有

懇談会や個人面談、学級通信等で家庭での学習、学校での学習準備についても話題にし、学校と家庭における学習への取り組みの様子を共有していきます。

学力向上をめざしていく上で、規則正しい健康な生活習慣は欠かせません。ご家庭におかれましても、次の点についてお子様とお話いただきながら、よりよい生活習慣が身に付けられるようご協力いただきたく思います。

- 朝食を毎日食べる。（1日元気に過ごすためのスタートは朝食にあります）
- 早寝、早起きをする。（規則正しい生活が規範を尊ぶ心情を育てます）
- 家族といろいろな会話をする。（楽しい会話で豊かな心を育みます）
- 宿題を毎日する。（学習の習慣化を図ります）
- 学習準備を整える。（学校での学習にしっかり取り組めるようにします）